

建築限界測定器



安全に、効率良く建築限界を連続測定し記録する装置

建築限界測定器は、走行しながら建築限界支障の有無を連続的に測定し、支障物等を検知した場合はアラームによるリアルタイムな検知確認に加え、自動的に検知した設備の写真を撮影し、建築限界との離隔と併せて自動的に記録する装置です。

目的と効果

工事の後などに列車に支障する設備等がないことを確認するため、建築限界付近の支障物の有無を連続的に測定することを目的に開発しました。走行しながら支障物を検知できるため、効率よく建築限界測定ができます。また、長尺の測定用ゲージを使う必要がないため、感電等の労働災害防止にもつながります。

特徴

支障物の検知範囲を任意に設定できるため、様々な建築限界に対して測定することが可能です。また、検知した支障物の写真、および建築限界との離隔を記録し、報告書形式で出力することが可能です。

測定結果出力例



西日本電気テック株式会社

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原三丁目5番24号(新大阪第一生命ビル11F)
TEL 06-6350-7520 WEB <http://www.wj-etec.co.jp>